

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]
(平成26年1月解析分)

1 疾患別定点情報

(1) 定点把握(週報)五類感染症

平成25年12月分(平成25年12月2日～平成25年12月29日:4週間分)

| No | 疾患名 | 月間発生数 | 定点当り | 過去5年平均 | 発生記号 | No | 疾患名 | 月間発生数 | 定点当り | 過去5年平均 | 発生記号 |
|----|---------------|-------|-------|--------|------|----|----------------|-------|------|--------|------|
| 1 | インフルエンザ | 265 | 0.58 | 7.67 | ↑ | 11 | ヘルパンギーナ | 4 | 0.01 | 0.02 | |
| 2 | RSウイルス感染症 | 331 | 1.17 | 1.80 | → | 12 | 流行性耳下腺炎 | 85 | 0.30 | 0.60 | → |
| 3 | 咽頭結膜熱 | 460 | 1.62 | 0.56 | ↗ | 13 | 急性出血性結膜炎 | 3 | 0.04 | 0.01 | |
| 4 | A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 437 | 1.54 | 0.99 | ↗ | 14 | 流行性角結膜炎 | 69 | 0.91 | 0.83 | → |
| 5 | 感染性胃腸炎 | 3,360 | 11.83 | 12.50 | ↗ | 15 | 細菌性髄膜炎 | 1 | 0.01 | 0.02 | |
| 6 | 水痘 | 550 | 1.94 | 2.15 | ↗ | 16 | 無菌性髄膜炎 | 4 | 0.05 | 0.02 | |
| 7 | 手足口病 | 41 | 0.14 | 0.31 | ↘ | 17 | マイコプラズマ肺炎 | 11 | 0.13 | 0.35 | → |
| 8 | 伝染性紅斑 | 4 | 0.01 | 0.15 | | 18 | クラミジア肺炎 | 0 | 0.00 | 0.01 | |
| 9 | 突発性発しん | 136 | 0.48 | 0.50 | ↘ | 19 | 感染性胃腸炎(ロタウイルス) | 3 | 0.04 | — | |
| 10 | 百日咳 | 3 | 0.01 | 0.07 | | | | | | | |

(2) 定点把握(月報)五類感染症

平成25年12月分(12月1日～12月31日)

| No | 疾患名 | 月間発生数 | 定点当り | 過去5年平均 | 発生記号 | No | 疾患名 | 月間発生数 | 定点当り | 過去5年平均 | 発生記号 |
|----|---------------|-------|------|--------|------|----|-------------------|-------|------|--------|------|
| 20 | 性器クラミジア感染症 | 53 | 2.30 | 1.97 | ↘ | 24 | メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 | 90 | 4.29 | 5.31 | ↘ |
| 21 | 性器ヘルペスウイルス感染症 | 16 | 0.70 | 0.61 | ↘ | 25 | ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 | 17 | 0.81 | 1.67 | ↘ |
| 22 | 尖圭コンジローマ | 13 | 0.57 | 0.52 | ↘ | 26 | 薬剤耐性アシネトバクター感染症 | 0 | 0.00 | — | |
| 23 | 淋菌感染症 | 32 | 1.39 | 0.84 | ↘ | 27 | 薬剤耐性緑膿菌感染症 | 0 | 0.00 | 0.10 | |

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当り)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

※ 感染性胃腸炎(ロタウイルス)は、平成25年10月14日から届出対象となったため、過去5年平均データはありません。

※ 薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成23年2月1日から届出対象となったため、過去5年平均データはありません。

発生記号(前月と比較)

急増減疾患!!(前月比2倍以上増減)

●急増疾患 インフルエンザ(42件 → 265件)

●急減疾患 なし

| | | | |
|-----|---|---|--------------|
| 急増減 | ↑ | ↓ | 1:2以上の増減 |
| 増減 | ↗ | ↘ | 1:1.5～2の増減 |
| 微増減 | ↗ | ↘ | 1:1.1～1.5の増減 |
| 横ばい | → | | ほとんど増減なし |

定点把握対象の五類感染症(週報対象19疾患,月報対象8疾患)について、県内177の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

| | 内科定点 | 小児科定点 | 眼科定点 | STD定点 | 基幹定点 | 合計 |
|---------|------|-------|--------|-------|--------------|-----|
| 対象疾病No. | 1 | 1～12 | 13, 14 | 20～23 | 15～19, 24～27 | |
| 定点数 | 43 | 71 | 19 | 23 | 21 | 177 |

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

| 類別 | 報告数 | 疾患名(管轄保健所) |
|------|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 一類 | 0 | 発生なし |
| 二類 | 39 | 結核(39)〔西部保健所(4), 西部東保健所(2), 東部保健所(8), 広島市保健所(17), 呉市保健所(6), 福山市保健所(2)〕 |
| 三類 | 2 | 腸管出血性大腸菌感染症(2); O157(1)〔広島市保健所〕, O128(1)〔西部東保健所〕 |
| 四類 | 6 | つつが虫病(5)〔西部保健所(1), 広島市保健所(4)〕, レジオネラ症(1)〔西部保健所〕 |
| 五類全数 | 20 | アメーバ赤痢(6)〔西部保健所(1), 広島市保健所(4), 呉市保健所(1)〕, ジアルジア症(1)〔福山市保健所〕 ウイルス性肝炎(3); B型(3)〔広島市保健所〕, 後天性免疫不全症候群(7)〔西部保健所(1), 東部保健所(1), 広島市保健所(4), 呉市保健所(1)〕, 侵襲性肺炎球菌感染症(1)〔西部保健所〕, 梅毒(1)〔北部保健所〕, 麻しん(1)〔広島市保健所〕 |

3 一般情報

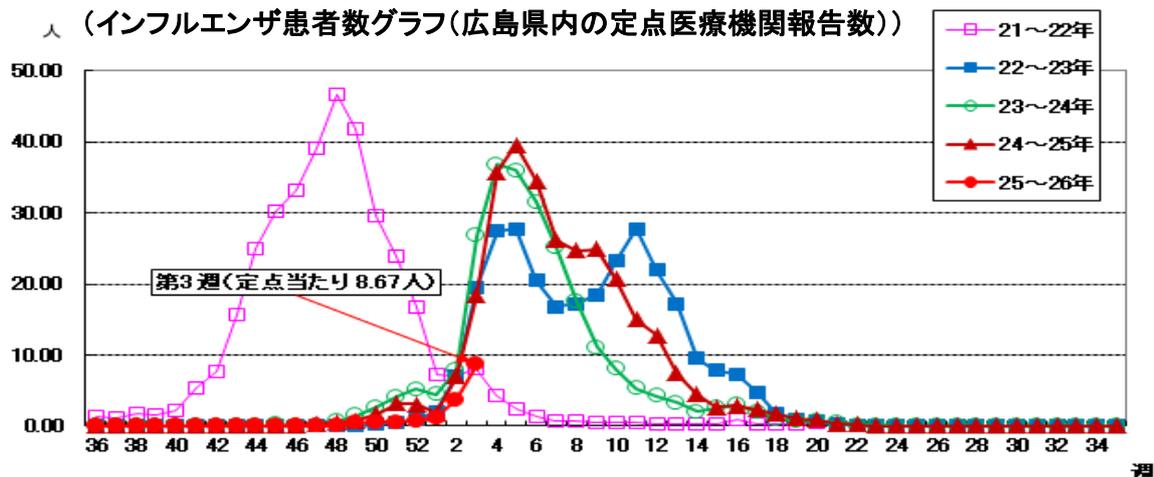
(1) インフルエンザの流行状況について(「インフルエンザ注意報」発令(平成26年1月23日))

平成26年第3週(1月13日から1月19日)の定点医療機関からの患者報告数が, 西部東保健所管内(竹原市, 東広島市, 大崎上島町)及び福山市保健所管内で注意報の基準(定点当たり10)以上となりました。
今後さらに流行が拡大する可能性があるため, 1月23日, 県内に「インフルエンザ注意報」を発令しました。
インフルエンザは予防できる病気です。人込みの多い場所への外出のときなど, インフルエンザの予防, 流行の拡大防止には, 次の点に注意してください。

インフルエンザを予防するための注意点について

- ・ 外から帰ったときなど, こまめに「流水と石けんで手洗い」を励行しましょう。
 - ・ 睡眠をしっかりと, 偏食をせずバランスのとれた食事を心がけ, 体力をつけましょう。
 - ・ 咳エチケット【咳・くしゃみの際には, ハンカチなどで口や鼻を覆い, 周りの人から顔をそむける。咳・くしゃみの症状がある場合は, マスクを着用する。】を守りましょう。
 - ・ 室内は, 加湿器などを使って, 適度な湿度(50%~60%)を保ちましょう。
 - ・ 人が集まる場所への外出は避け, 出掛けるときは, 不織布(ふしょくふ)製マスクを着用しましょう。
 - ・ 症状などからインフルエンザが疑われる場合は, 早めに医療機関を受診しましょう。
- 特に基礎疾患(腎臓疾患, 心臓疾患, 呼吸器疾患等)をお持ちの方や, 妊婦, 高齢者, 乳幼児は合併症を起こしたり, 重症化する恐れがありますので注意しましょう。

人 (インフルエンザ患者数グラフ(広島県内の定点医療機関報告数))



※なお, 最新の発生状況等については, 次のホームページを御覧ください。

○広島県「インフルエンザの流行状況(注意報を発令しました)」

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/hidsc-kansen-wadai-zyouhou-inf-zyouhou.html>

(2) 感染性胃腸炎の流行状況について(「感染性胃腸炎警報」発令中(平成25年11月21日発令))

定点医療機関からの患者報告数が11月の2, 112人から12月は3, 360人と増加しています。
感染性胃腸炎は, 冬季に流行のピークがみられるノロウイルスやロタウイルスなどによる感染症で, 人から人へ感染する場合と二次汚染した食品から感染する場合があります。特にノロウイルスは, 非常に感染力が強く, 施設内では感染が拡大し, 多くの方がり患する傾向があることから, 健康被害を受けやすい高齢者施設, 保育園や幼稚園などでは, 感染予防及び流行の拡大防止の徹底をお願いします。

※なお, 最新の発生状況等については, こちらのホームページを御覧ください。

○広島県「感染性胃腸炎の流行状況」

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/ichoen-ryuukou.html>